

カリフォルニアアーモンド市況



2012年産の収穫減と高値にも関わらず堅調に推移する需要を背景に相場高騰が続く

アーモンドの現地相場は、相場が急騰した昨年9～10月以降も2012年産の減産を背景とした数量限定のオファーにパイヤーからの買いが殺到し、取引が成約される度に相場は上昇し続けています。1月中旬から下旬にかけても中国やインド、ヨーロッパなどの需要国からまとまった引き合いが入った事で更に相場は上昇し、2月上旬にはノンパレル エキストラ#1 23/25でUSD3.80/LBまで高騰しており、ニュークロップ迄の品薄感から依然強含みで推移しています。

カリフォルニア現地時間の2月8日に発表された1月末締めポジションレポートで12年8月から1月までの累計受入数量が18億3,900万ポンドと発表されました。2月以降の受入数量を5,000万ポンドと仮定すると、2012年産の収穫量が約18億9,000万ポンド台に留まるであろう事が決定的となりました。2011年産の収穫量20億2,000万ポンドと比較すると約6.5%の減産となる見通しです。また、8月から1月までの累計出荷量は、前年同期比99.51%とほぼ前年並に推移しており、需要の落込みは見受けられません。

2012年産の減産が明らかとなった9月以降、パッカーからのオファー数量が限定的であった事から、パイヤー側は更に買付を進めなければならないと想定され、今後も引合に対する数量限定のオファー提示、成約の度に相場が上がっていくという構図が続く可能性が極めて高く、相場は堅調に推移するものと思われます。

